



生駒市立上中学校 校長室だより

第5号 令和8年9月1日
校長 眞井 英司
奈良県生駒市上町 3000 番地

希望あふれる 2 学期へ！～仲間とともに心ひとつに～



残暑が厳しい中、2 学期が始まりました。静かだった校舎に皆さんの元気な声が戻り、学校全体に活気があふれています。夏休みの間には、家族や友人との時間を大切にしたり、部活動や学習、自分の興味のあることに取り組んだり、それぞれが充実した日々を過ごしたことと思います。その経験が皆さんを一回り成長させ、新たな力となっていることでしょう。

2 学期は、一年の中でも最も充実した学期です。文化発表会や体育祭をはじめ、学年ごとの取組や部活動の大会・発表の場など、多くの行事が予定されています。仲間と協力しながら一つの目標に向かって取り組む中で、新たな発見や成長が生まれます。

行事の成功には、一人一人の力が必要です。得意なことを生かすことはもちろん、苦手なことにも挑戦しながら、自分の役割を果たしてほしいと思います。時には意見がぶつかることもあるでしょう。しかし、それはより良いものを創り上げるための大切な過程です。相手を思いやり、自分の考えを伝えながら協力することで、より強い絆が生まれます。

2 学期は「挑戦」と「成長」の学期です。自分自身の可能性を信じて何事にも前向きに取り組む、仲間とともに充実した学校生活を送ってください。

この 2 学期が、皆さんにとって大きく成長できる実り多い学期となることを願っています。みんなで力を合わせ、最高の 2 学期を創り上げていきましょう。



9 月 1 日は防災の日

9 月 1 日は「防災の日」です。1923 年 9 月 1 日に発生した関東大震災を教訓として定められた日であり、災害への備えを見直す大切な機会です。

今年の夏休み中も、私たちは自然災害の恐ろしさを改めて実感しました。全国各地で大雨や台風による被害が発生したほか、7 月には熊本県で大きな地震が発生し、多くの方々が避難生活を余儀なくされました。また、連日の猛暑により熱中症への厳重な警戒が呼びかけられ、自然の脅威が私たちの身近にあることを強く感じる夏となりました。地震や風水害、猛暑など、その形は異なっても、災害はいつ、どこで起こるかわかりません。だからこそ、「もし今起こったら、自分はどう行動するのか」を日頃から考え、備えておくことが大切です。

学校では避難訓練や防災学習を行っています。訓練で学んだことを実際の行動につなげることが重要です。避難経路の確認や落ち着いて行動する力を身に付け、自分の命だけでなく周りの人の命も守れるようになってほしいと思います。

また、ご家庭でも避難場所や避難経路、災害時の連絡方法について話し合い、非常持ち出し袋の確認をしてみてください。いざという時に備えておくことが、自分や家族の命を守ることに繋がります。

「自分の命は自分で守る」、そして「周りの人の命も守る」という意識を持ち、防災の日をきっかけに、自分にできる備えについて改めて考えてみましょう。

